

ソフト開発と製造業2事業の相乗効果から生まれた生産管理システム

大阪 21

株式会社デジック

<http://www.digic.org/>



開発スタッフミーティング

Company Profile

株式会社デジック

住 所 / 〒581-0053
八尾市竹湊東1-209
創 業 / 昭和61年4月
設 立 / 昭和63年2月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 11名
T E L / 06-6790-8585
F A X / 06-6790-4611

■主な事業内容

コンピュータソフトウェア開発販売
(中小製造業向け生産管理システム・板金業向けCAD/CAMシステム)、中小製造業向けIT推進システムコンサル業務、バルブ・ポンプ用パッキン全般の製造販売

■主な取引先

(ソフトウェア事業) 中小金属加工業、鍛圧機械メーカー等
(パッキン関連事業) 大手電力会社、ポンプバルブ製造会社、航空部品製造会社等



グラファイトパッキン製品各種

当社のセールスポイント

同じ目線で提供するソフトでお客様と共に育みたい。



代表取締役
上野 雅弘さん

鉄工所で父の背中を見て育ち、一貫してものづくりに携わってきました。今日、中小製造業は苦境にあります。ただ価格競争に走るのではなく、ムダをなくして意識を変えることで効率を上げていかなければなりません。しかしやり方がわからない、いいものがないという企業様に、同じ目線でつくるソフトを提供したいのです。効果が上がって喜んで頂くことで私達も学び、またチャレンジしていく。お客様と共に育っていくのが私達の喜びです。



50人以下の中小製造業に特化した生産管理システム(アシストシリーズ)

中小製造業に特化した生産管理システムを低予算で実現

多くの中小製造業では、管理をシステム化しようにも導入に1千万単位の費用がかかる場合が多く、また多機能すぎて使いこなせない不安がある。そうした問題を解決するためにデジックが開発した生産管理ソフトが「アシストシリーズ」だ。このソフトは従業員が50名以下の受注生産型中小製造業、特に金属加工業に特化。受発注から入出金までの事務管理はもちろん、生産状況全体を視覚的にわかりやすく把握でき、生産管理の「見える化」を実現する。結果、状況を把握できないことで生じていた在庫や時間のロスを大幅にカットできる。製造業の人々がなじみやすいよう操作性も容易。費用も100万円以下の低予算から実現可能なものとなっている。

〈アシストシリーズ〉は、デジック自身が元来、ものづくり企業であることから誕生した。上野社長は先代の

高付加価値で選ばれるグラファイトパッキン

製造部門では、バルブ・ポンプ用パッキンを製作している。特筆すべきは、国内でも手がける企業が少ないグラファイトパッキンに強いことだ。従来のパッキンと言えは石綿が主流だった。グラファイトはそれに代わる

鉄工所で働くかたわら、板金用CAD/CAMシステムの開発を手がけ、以後ソフト開発での実績を重ねてきた。現場を熟知しているからソフト開発に反映できる。また逆にITの技術を製造部門に生かしてきたのである。上野社長は、ソフト開発についてこう語る。「中小企業は目に見えない生産管理にお金をかけにくい。今まで通りでいい、となってしまう。システムの導入は、そこから脱却するひとつの社内改革なんです。不況の今だからこそ付加価値を高め、同業他社との差別化を図り、生き残るお手伝いをしたいのです」。



グラファイトパッキン製造は、ソフト開発と並ぶ2本柱

素材として、特に高温・高圧下で使用される発電所が主流で、航空業界にも納入している。

グラファイトパッキンは「見しんぷル」だが、その製造は膨大なバックデータに裏打ちされている。金型で成型するため、素材の収縮率等のデータ蓄積が精度を左右するのだ。さらにデジックでは、どれだけの力で締め付けられたらどのくらい張つて、どれだけの時間で衰えていくかという、パッキンの特性(応力緩和)を自社開発した検査装置で測定し、お客様に報告している。ソフト開発部門を持つ同社ならではの、強みである。